



# TSK TSK TSK

# はいつとお通信



～ だいごう 第3号 ～

👉 もくじ

2009年

編集：CILほっとらいふ  
〒山形県北村山郡大石田町緑町13-15  
サンコーポ・グリーン503号  
TEL:0237-35-5510/FAX:0237-35-5060  
E-mail:cil\_hottolife@ebony.plala.or.jp

… ◆ … ぎゃくたいぼうし とくしゅう 虐待防止ワークショップ特集 … ◆ …

♥ ぎゃくたい 虐待ってなに？

♣ こうし きこうぶん 講師の寄稿文

♠ さんかしゃかんそうぶん 参加者感想文

♣ アンケートいろいろ



「はいつとお通信」の「はいつとお」の意味は、  
おおいした ほうげん 大石田の方言で、よその家を訪問する際に玄関先  
で「入りますよう」という意味の声かけ、挨拶です。

春便り



やまがた 山形にも、ようやく春が来た  
ひ あ まわ やまやま きぎ 陽を浴び、周りの山々の木々が  
もえぎいろ はな さ 萌黄色の花を咲かせたように輝く  
かがや

しょう しょうじりつせいかつ 障がい者自立生活センター

シーアイエル CILほっとらいふ

# ◆ 2009年障害を持つ人の「虐待防止ワークショップ」開催

平成21年3月8日、東根市タントクルセンター (子育て支援施設) にて、障害を持つ人の「虐待防止ワークショップ」が行われました。日本財団の助成金を受け、JIL (全国自立生活センター協議会) 主催・CILほっとらいふが事務局を担当して開催したものです。



講師：鈴木絹江氏・平間みゆき氏 (JIL 人権委員)  
[ワークショップには、県内外から38名の参加者]

## … 目的はなに？

虐待防止ワークショップの目的は、虐待に立ち向かう力をつけることです。

そして、それにつながる知識を獲得し、仲間をつくり、信頼できる人との関係を大切にして暮らしていくこと。虐待にあったらそれに立ち向かっていこうとする勇気を身につけることです。

そのことを、みんなで確かめ合い・支え合い・共感していくことを、大切にしています。

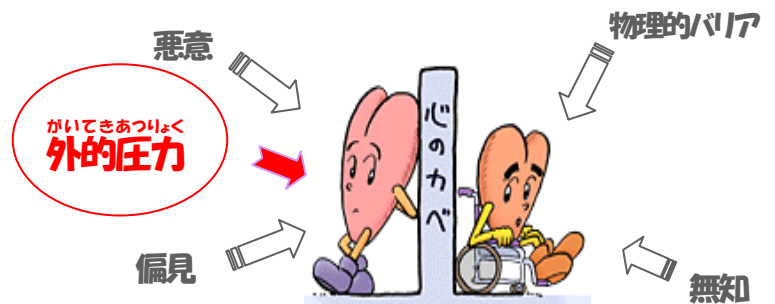


## あなたは、ひとりじゃない！



## 虐待にはどんな種類があるの？

- ① 身体的虐待 (からだへのぎゃくたい)
- ② 言葉による虐待 (ことばのぎゃくたい)
- ③ 性的虐待 (せいいてきぎゃくたい)
- ④ 放置 (ほうち・むし)
- ⑤ 金銭搾取 (きんせんさくしゅ)



♥ハートがしぼんじょうよ〜！

## … ◆ ◆ ◆ 活動のはじまり ◆ ◆ ◆ …

2000年、イリノイ州 (シカゴ大学) で研修を受けてきた方が中心になって、JIL (全国

自立生活センター協議会) 人権委員会を構成、そのメンバーが「障害を持つ人の虐待防止ワークショップ」を全国各地で、また、海外では韓国で開催しています。

## ◆ ワークショップとの出会い、そしてインストラクターとして

ぶん ひろま ジルじんけんいん よねざわしげいじゅう  
文：平間みゆき（JIL人権委員・米沢市在住）

7年前、この「ワークショップ」に出会うまでは、私は虐待を受けたこともないし、したこともない、「虐待」は自分とは無関係のところで起きていることでまったくの他人事でした。



こうざ かさ あたら ほっけん  
講座を重ねるごとに、新しい発見があります。

なぜなら、テレビや新聞で事件としてとりあげられるような、殴る・蹴る・火傷を負わせるなど身体的に危害を加えたり、食事を与えなかったり、監禁したり、時には命をも奪ってしまう、そういうことが「虐待」だと思っていたからです。

ところが・・・。



物心がついたときから感じてきた理不尽な思い、嫌な思い、苦しい思い、幼い頃、施設に入所していた時に、職員から言われた何気ない言葉に深く傷つき、しっかりと蓋をして重石をのせ、何重にもしばりつけていた数々の出来事、それが実は「言葉による虐待」であったこと。そしてもっと衝撃だったのは施設職員として仕事をしている自分の何気ない言動が、態度が、行動が、時として「虐待」として捉えられることを知り、頭を殴られたようなショックと心の痛みに呆然としたことを思い出します。しばらくは施設職員という仕事をしていることが何かとても悪いことをしているような罪悪感がありました。



[障害を持つ若いカップルの将来は?] [こんなことも虐待なんだ?] [虐待のイメージが大きく変わった!]

おそらく、多くの人達の「虐待」のイメージは、ワークショップに出会う前の私と同じではないでしょうか。



身体的虐待・言葉による虐待・放置・性的虐待・金銭搾取—それらの虐待の種類と特徴を知り、

心の中がどうなるのかを理解することは、なんだかわからないとても嫌な事、説明できない漠然と

した事を明らかにしていく意味でとても大切なことでした。権利は誰かに護られるのではなく、

「知識・仲間・勇気」をもって自分の力で立ち向かうという主体的な考え方も目から鱗でした。



このワークショップの魅力は参加者一人ひとりが主人公であり、参加者同士が仲間であることを感じながら、必ず解決することができるという希望がもてること、自ら立ち向かうために勇気をもてること……。それが「虐待」を生み出

す状況に風穴をあける力になるのだと思います。何回か参加するうちに罪悪感はなくなり、むしろ

「虐待」に目をそむけずに向き合うことが、障害のある自分に誇りをもって生きること、自分の

仕事に対する誇りをもつことになるのだと思うようになりました。インストラクターの経験はまだ

数えるほどしかありませんが、今回の東根でのワークショップは地元ということもあり特別な意味

をもって臨みました。 … … … … …

私はいつもこのワークショップのプログラムの内容と構成がとても良くできていると感心して

います。知れば知るほど奥深さにはまっています。「虐待」というなかなかイメージしにくい内容

も、ロールプレイ（寸劇）を通して具体的で分かり易く、そして笑顔と笑い声、重たいテーマにも

かかわらずなぜか楽しい雰囲気になります。ロールプレイは開催地のCILの方々が中心に演

じてくれるのですが、それがまた素晴らしく、はまり役のリアリティさについて笑いが誘われます。

私自身「ワークショップ」で心がけているのは様々な立場の参加者がいるということを意識して

参加することです。「虐待」という言葉を聞いただけで避けて通りたい、触れたくない重たいテー

マのワークショップに参加すること自体がその人にとって一歩踏み出したことであり、だからこそ

参加した方々がどのような立場の人であっても、同じ舟に乗って目的地まで一緒にたどりつきたい

という思いで参加しています。



障がいのある人を取りまく状況は、密室性、閉鎖性、支配  
非支配の関係が容易につくられ、日常的に虐待は起きてしま  
う可能性があります。もっと広い視点で見渡せば、虐待を受  
けるのは障がいのある人だけではないし、虐待をするのは



障がいのない人だけではありません。いつでもどこでも誰でも虐待を受けたり虐待をしてしまう  
状況に陥る可能性があるのです。だからこそ、より多くの人達が参加すれば「障がいを持つ人の  
虐待・・・」を通し、誰もが他人事ではなく自分の事として向き合う糸口となり、地域の中のネ  
ットワークができていくことに繋がっていくのだと思います。

JIL人権委員会委員長の東さんの「次の世代の子供たちに自分達のような思いをさせたくない  
い、次世代まで残したくない」という言葉は、心をゆさぶります。

ワークショップが種まきだとすると、私自身を含め参加した人がそれぞれの場所で芽吹かせて  
いくのが、このワークショップの活動であり、目指すは差別や偏見によって、社会から排除される  
ことなく、一人一人の人権が尊重される社会にしていくこと、それが、今、各地で機運が高まっ  
ている差別禁止条例制定の運動にも繋がっていくことでもあります。



[皆さん、真剣に聞いて下さいました]



[講師のお二人です]



[虐待の認識が、大きく変わった瞬間です]

福島では県内のC I Lが中心となりインストラクター養成講座がはじまります。

ぜひ今回の東根でのワークショップを機会に「ほっとらいふ」の皆さんとこの山形で継続して取  
り組んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。



はじめは、み～んな  
オタマジャクシ！  
未来にステップ！



ても足もなかったオタマジャクシだって、やがて手足が生え  
世界に飛び立つ日を、じっと踏ん張って待ってるんだよ！

👏 ... 困の中の蛙で終わるものか ... !



**ゆうき**  
**勇気をだして!**

～ ざやくたいぼうし 虐待防止ワークショップに、はじめてさんか 参加して ～

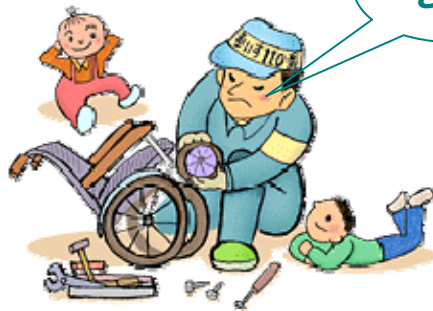
すなお かん  
素直に感じたこと …

ぶん  
文：ひろ

ぼくが、ざやくたいぼうし 虐待防止ワークショップにさんか 参加させていただいてかん 感じたことは、あまりいま までつら 辛かったことや悔しかったことなど話せなかったもので、そのことを書きます。

がんばるぞー!

ぼくは、へいせい ねん 平成3年からへいせい ねん 平成5年まで、けん S県のりハビリセンターというところす 所ですごしました。そして、へいせい ねん 平成5年にやっといえ に帰れるとよろこ 喜びとうれ 嬉しさでいっぱいでした。それから、いえ 家に帰ってくるま 車洗いとくるま 車の中なか 掃除とかそうじ 掃除とあた たら新しいしごと 仕事ができる、ぼく



としてはおお 大はりきりでした。(ぼく うち 家で、ちち 父がくるま 車のせいびこうじょう 整備工場をしていました)

でも、ぼくにいろいろおし 教えてくれたせんぱい 先輩は、ぼく 僕に対してだけこえ 声をあら 荒げて、いわれたことをぼく 僕ができないとくち 口すっぱく、このやろう 何回も同じことなんかい おな 俺にいわせんなだの、そんなこともできないながあ っと言いながら、いいかげんおぼ 覚えないとなに おどか 脅かしてやろうというせんぱい 先輩でした。

そのことを、いえ 家のじゅうぎょういん 従業員の人たちに話したところ、しごと 仕事のことと言ってるんだからかんしゃ 感謝しなさいとか、そんなことかんが 考えてたらしごと 仕事にならないとばかり、その人たちからいわれていたからぼく 僕はかたみ 肩身のせまいおも 思いをしてまいにちしごと 毎日仕事をしていました。そのときは、くや 悔しくてそのせんぱい 先輩をひっぱたいて やろうと、ぼく 僕はて あ 手を上げなぐるかつこう 格好をしました。すると、けいさつ 警察にうった 訴えてやるぞといつものちょうし 調子で声をあら 荒げばせい 罵声をはなっていたので、いかに 怒りにふるえていえ 家にもどって、ひきこもる日々が何日もつづき、胸がくる 苦しくてしょうがありませんでした。



よる ねむ 夜も眠れないくらいくる 苦しくて、こんなぼく 僕のことをだれ わか 誰も分かってくれないやりきれないきもちが、こぶしからち 血が出るほど、いえ 家の中のなか 窓ガラスとかまど 物をこわしたりしてました。びょういん 病院からくすり 薬をもらっての おも 飲んで眠れない日がつづいたり、まわ 周りのおお 大きな声につぜん 突然つらかったことをおも 思い出して体のふるえがと 止まらかったり、そんな日何日もつづきました。

ある日、ぼく 僕がかよ 通っているしょうきばさぎょうじょ 小規模作業所のしよちょう 所長さんから、じりつせいかつ 自立生活センターだひょう 代表のわい Yさんをしょうかい 紹介してもらいました。わい Yさんは、ぼく 僕とおな 俺と同じようにからだ 体がふじゆう 不自由でくるま 車いすに乗ってました。



◇♪◇ **ピア(仲間)として、相手の気持ちにより添うことが大切なんだね！**

そのYさんは、いつも僕のいろんな話しを聞いてくれました。はじめは、なかなか本当の自分を見せられなかったけど、知り合って1年くらいたったある日、ここで話したことはよその人に話すことはないから安心していいよ。泣きたいときは泣けばいいし、怒りたいときは怒ればいいし、正直に自分の気持ちを出していいんだよって言うてくれました。それから少しずつ苦しかったことやつらかった時のことを心から話せるようになり、2年半を過ぎた頃から、辛かった苦しい嫌な気持ちがだんだんうすれてきて、物に当たったりすることはなくなっていました。

Yさんと知り合いもう3年以上になります。いろんな研修会に参加して、障がい者仲間もできました。そして、今回の虐待防止ワークショップに参加させていただいて、誰も気付かないところでいじめがあつたりすることをどうやって解決していったらいいのか、少し分かったような気がして本当によかったです。

◆◆◆ **虐待は、あきらかに人権侵害です。** ◆◆◆

… … 📎 **はじめて虐待防止ワークショップに参加して ~** 文:みほら としひろ

はじめて参加した講座が、Yさんの虐待防止ワークショップです。

ロールプレイと言うアトラクションを交えながらの説明は、とても解りやすかったです。

虐待にも色々な虐待がありま  
かも知れないと思ひました。  
なければと、強く感じました。



した。私も、他の人に虐待をしている  
これからは、注意して生活をしていか  
それから、午後に行ったハートの

形の風船を使った解説で「人間の気持ち(心)は、風船のように外からの圧力で小さく萎みがちだから、元の形に戻せるように膨らむような気持ちになろう」と言うのが印象的でした。

本当に、大変勉強になった1日でした。私も萎んだ気持ちをもとの膨らんだハートに戻します。

ありがとうございました。

◇ **どんな小さな命も、自分らしく生きたいんだよね。**

**困難が立ちあがっても、挫けぬ強さをともどそう！**



## ◆ ふりかえりシート<sup>かいとう</sup>回答あれこれ…



### ◇ 回答<sup>かいとう</sup>をよせて<sup>くだ</sup>下さった<sup>かた</sup>方<sup>めい</sup>12名 …

ふりかえりシートのアンケートは、7項目<sup>こうもく</sup>によって行<sup>おこな</sup>われました。虐待<sup>ぎゃくたいぼうし</sup>防止<sup>とうじつ</sup>ワークショップ当日は、スタッフ<sup>ふく</sup>を含め<sup>けんないがい</sup>県内外<sup>めいほど</sup>から38名<sup>さんか</sup>程の参加があり、アンケートには12名<sup>めい</sup>の方<sup>かた</sup>から回答<sup>かいとう</sup>がありました。皆<sup>みな</sup>さん、真<sup>しん</sup>剣<sup>けん</sup>なまな<sup>な</sup>ざ<sup>ざ</sup>しで聞<sup>き</sup>き入<sup>い</sup>っていました。

## … 障がい<sup>しょうがい</sup>を持つ<sup>も</sup>つ人の<sup>ぎゃくたいぼうし</sup>虐待防止<sup>かいとう</sup>ワークショップ<sup>かいとう</sup>ふりかえりシート<sup>かいとう</sup>回答 …

### (1) ワークショップ<sup>ぜんたい</sup>の全体<sup>かん</sup>について、どのように感じましたか？

(項目<sup>こうもく</sup>によって<sup>わか</sup>い<sup>かい</sup>とう<sup>とう</sup>)

①とてもよい (5名) ②よい (6名) ③ふつう (0名) ④わるい (0名) ⑤とてもわるい (0名)

#### < 参加者<sup>さんか</sup>の感想<sup>かんそう</sup> >

- 1、言葉<sup>ことば</sup>だけの説明<sup>せつめい</sup>だけでなく、ロールプレイ<sup>すんげき</sup> (寸劇<sup>せつめい</sup>) をまじえて説明<sup>せつめい</sup>していただいたので、分<sup>わ</sup>かりやすかった。
- 2、初<sup>は</sup>めて参加<sup>さんか</sup>させて頂<sup>いた</sup>いだ。問題<sup>もんだい</sup>意識<sup>いしき</sup>を持って聞<sup>き</sup>くこと、理<sup>り</sup>解<sup>かい</sup>できることがたくさんありました。
- 3、マヒ<sup>まひ</sup>していた自分<sup>じぶん</sup>に気<sup>き</sup>づかされた。仲<sup>な</sup>間<sup>かま</sup>っていいな！ 4、よい学<sup>まな</sup>びでした。

### (2) ワークショップ<sup>かん</sup>の4つのステップ<sup>かん</sup>について、どのように感じましたか？

#### ステップ1：ぎゃくたい<sup>ぎゃくたい</sup> (虐待<sup>かん</sup>) ってなんやろ？

①とてもよい (5名) ②よい (3名) ③ふつう (1名) ④わるい (0名) ⑤とてもわるい (2名)

#### ステップ2：なんで立<sup>た</sup>ち向<sup>む</sup>かえないのやろ？

①とてもよい (1名) ②よい (7名) ③ふつう (2名) ④わるい (1名) ⑤とてもわるい (0名)

#### ステップ3：地<sup>ち</sup>域<sup>いき</sup>の中<sup>なか</sup>で何<sup>なに</sup>ができるやろか？

①とてもよい (2名) ②よい (3名) ③ふつう (4名) ④わるい (1名) ⑤とてもわるい (0名)



## ステップ4：自分の力をとりもどそう

①とてもよい (7名) ②よい (1名) ③ふつう (1名) ④わるい (0名) ⑤とてもわるい (0名)

### < 4つのステップについて、感じたこと、考えたこと >

- 1、具体的でわかりやすい。それぞれ、当事者の方がお話ししてくれたのが良かった。ありがとう。
- 2、少し勇気を持って、前向きに一步步進むことが大切だと思います。

## (3) ワークショップの時間は、いかがでしたか？

金魚迷惑な話、どのくらいあったかな ギョロオ …

… … … … … !



①長すぎる (1名) ②ちょうどよい (7名) ③足りない (2名) ④時間の配分を変えた方がよい (0名)

### < 時間について、感じたこと、考えたこと >

- 1、1日だけだと参加者の話しを充分聞けないので、総合時間を増やしてほしい。1日では、むずかしいと思う。やっぱり、泊りがけでやりたい。
- 2、休憩時間はちょうどいいが、最初の2時間はすごくくたびれた。緊張で。
- 3、長時間ですが、いろんなステップがあり勉強になりました。
- 4、泊りがけで、トコトン話すべきだ。

## (4) ワークショップの進行役のすすめ方は、いかがでしたか？

①わかりやすい (6名) ②よい (4名) ③ふつう (1名) ④わるい (0名) ⑤とてもわるい (0名)

### < 進行役について、感じたこと、考えたこと >

- 1、よくチームワークを組んで、助け合いやっていたことを感じた。



- 2、それぞれ、個性的でよかった。
- 3、気持ちが伝わりました。



♪♪ このまちがすきさ きみがいるから  
このまちがすきさ きみのほほえみあるから ♪♪  
… ~ こんなうたから はじまりました！

**(5) ワークショップの中でいちばん印象に残ったことを、書いてください。**

1、どの虐待があるかが、印象に残りました。知らないところで虐待にあってるじゃないか、虐待をしちゃってるじゃないか心配でした。

2、いままで、思いやりから発せられた言葉だとばかり思っていたことが、虐待だったことを知って、目からうろこの感でした。年のせいで、これまでよりおとろえているんだから分かってあげないと

… … などの言葉。 … ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ … ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ … ♪ ♪ ♪ ♪ ♪ …

3、明るい仲間ができそうです。



4、ステップ4が、非常に新鮮でした。

5、当然なこととして、親切心として、また、これが優しさの

表現として行動していたことが、決して相手にとって親切でないという現実に関心おどろ

なのか!という井の中の蛙が初めて気付かされた。自分の住む生活の中で、障がいのことを何も考えずに

来たことが恥ずかしく思った。こうした障がい者の現実をあまりにも、私を含めた人々は



無関心すぎると思いました。

以前の障がい者の壁は、

実は社会そのものといわれ

た事があつたが、まさにそう



だと思う。この社会にある壁をなくすため、働きかける必要があると思った。

6、いろんな権利があることを、知りました。

7、グループワーク・ロールプレイ、一緒に気持ちを具体的に考えたり、解決方法を考えたりするのに希望を感じる事ができた。

8、いろんな場面で、思いやりを持った言葉と行動が必要だと感じました。

9、話の中で、施設に大きなお金がかかり、大きなお金が動いている話を聞いたが、利用者が利用できるサービスは受け入れられない。

**(6) ワークショップの中で変えた方がいいと思っただけを、書いてください。**

1、時間の配分を、変えた方がいい。

2、ワークショップの4つのステップの解答の表現を変えた方がいい。

例：① とてもよく理解できた ② よく理解できた ③ 少し理解できた ④ 理解できない

3、気持ちのわかしあい、前半にも少し入れた方がもっとうまくいくと感じる。発言する機会を失うと、気持ちがあふれそうになるから大変。

4、ステップ1～ステップ3について、どうしても眠くなる。それを防止する方法を、考えていきたい。



**(7) ワークショップの中で変えた方がいいと思っただけを、書いてください。**

1、虐待は、すべての人にあると思う。それをはっきりと意識できる貴重な機会でした。

2、はじめてのことが多く不安だったけど、すごく勉強になりました。



☠️☠️☠️ … 虐待は、あきらかに権利侵害だあ！ … ☠️☠️☠️

ウメの、芸術家きどりのひとり言 …

子育て支援施設、東根市タントクルセンターにて、県内外から38名程の参加者を迎え開催された。

障がい当事者、福祉の仕事に従事されている方、福祉関係の情報誌を出版されている方、法務局の仕事をしている方、一般参加者など多彩な顔ぶれの参加による開催になった。

虐待という重いテーマを、参加された方たちにちゃんと受け止めてもらうには、伝達・表現方法をどのようなにしたらいいのか会場の中に入れず帰ってしまった精神障がいの方を思うとき、虐待と言うどす黒い染料が染込んでしまった心の糸の複雑な絡まりがいつほどけるともなく、恐怖心にも似た震えに突然おそれ、虐待という抑圧に支配され、自己の力だけではどうしようもない人もいることを知らされた。

**< 平成21年、会費納入 および 寄付をいただいた方 >**

- ◇ 高橋安志様、柏倉良治様、ご寄付ありがとうございました。
- ◇ 正会員、賛助会員のみな様、会費納入ありがとうございました。

◆◆◆◆ … ☎ **会員登録のお知らせ** … ◆◆◆◆

☞ 「CILほっとらいふ」の活動は、**会員一人ひとりの皆さんの会費**によって支えられています。

そのため、「CILほっとらいふ」の**考え方**や活動にご**賛同・ご協力**いただける方々を募集しています。

●正会員

年会費／1口2,000円

※本会のサービスを、利用する会員です。

●賛助会員

《個人》年会費／1口2,000円

《団体》年会費／1口5,000円

※本会の主旨に賛同し、金銭的な援助をして下さる会員です。

よろしくね!

◎会費・寄付金の振込先

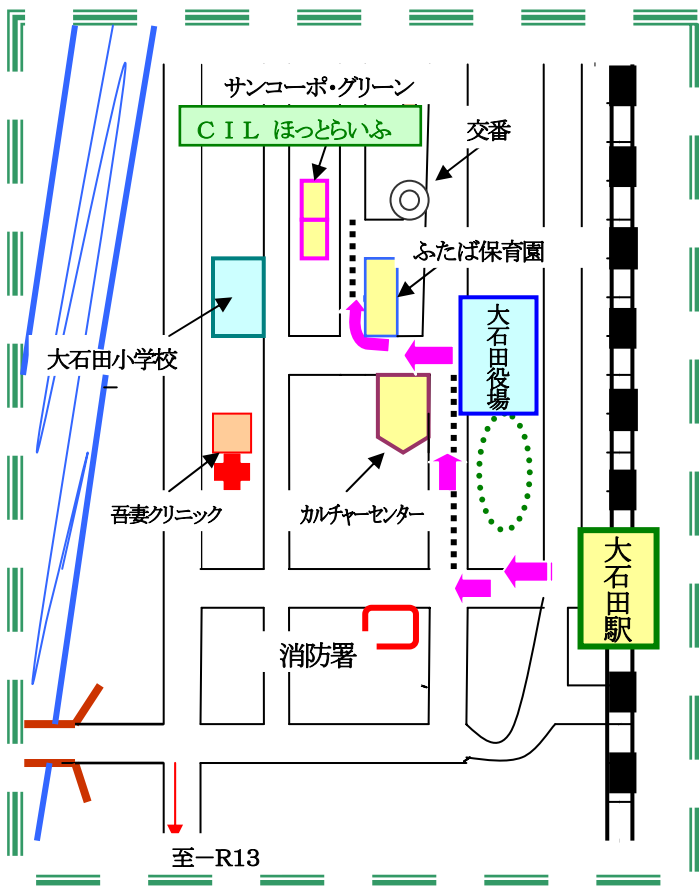
《銀行》

山形銀行 大石田支店

普通／店番:452 口座番号:345784

名義人／障がい者自立生活センターほっとらいふ

代表 梅津洋治



《開所時間》

月・火・水・木・金曜日 (9:00 ~17:00)

☞ 「CILほっとらいふ」の住所です。

〒 999-4112

山形県北村山郡大石田町緑町13-15

サンコーポ・グリーン 503号室

TEL:0237-35-5510

FAX:0237-35-5060

E-mail : [cil\\_hottolife@ebony.plala.or.jp](mailto:cil_hottolife@ebony.plala.or.jp)

※CILとは、センター・フォア・インデペンデント・リビング

Center for Independent Living

の頭文字です。

CIL

障がい者自立生活センター

ほっとらいふ

編集:障がい者自立生活センター「CILほっとらいふ」

代表 : 梅津洋治

〒 999-4112 山形県北村山郡大石田町緑町13-15

サンコーポ・グリーン503号

TEL:0237-35-5510/FAX:0237-35-5060

発行:東北障害者団体定期刊行物協会(TSK)

〒 981-907 仙台市青葉区高松1-4-10

TEL/FAX : 022-234-0106

定価 : 100円